

平成26年度

---

# 老人クラブ実態調査報告書

---

〈概要版〉

2015年3月



公益財団法人 全国老人クラブ連合会

## はじめに

本書は、「単位老人クラブ実態調査」と「市区町村老人クラブ連合会実態調査」、2種類の調査報告の概要版です。

本会では、老人クラブの調査を平成5年以来5年ごとに実施してきましたが、今回は諸事情により1年遅れて平成26年度に実施したものです。

単位老人クラブは全国で約11万クラブありますが、今回の調査では、地域を考慮した10の都道府県・指定都市老連を選定して、その中から全国のクラブ数の約3%（3585クラブ）を抽出して調査の対象としました。

また市区町村老人クラブ連合会は、前述の10都道府県・指定都市老連に6老連を加えた16都道府県・指定都市老連における、すべての市区町村老連（480）を対象としています。

全国の老人クラブ・老人クラブ連合会におかれましては、この調査結果を基礎資料として、これからのクラブ運営、活動の参考資料にいただければ幸いです。

最後になりましたが、ご協力いただいた次の16の都道府県・指定都市老連、市区町村老連、単位老人クラブの関係者各位に深く感謝申し上げます。

札幌市、秋田県、茨城県、埼玉県、東京都、石川県、静岡県、岐阜県

京都市、大阪府、和歌山県、山口県、徳島県、福岡市、長崎県、鹿児島県

また調査結果の集計・分析を担当した（有）桜プランニングにも感謝申し上げます。

公益財団法人 全国老人クラブ連合会

— 目 次 —

はじめに

調査の概要	2
第1章 「単位老人クラブ実態調査」結果の要約	6
第2章 「市区町村老人クラブ連合会実態調査」結果の要約	33
資料 調査票（単純集計結果記載）	61

【本書における注意事項】

- 以下のとおり、文言を略記している箇所がある。
  - 「単位老人クラブ」→「老人クラブ」または「クラブ」
  - 「老人クラブ連合会」→「連合会」
  - 「社会福祉協議会」→「社協」
  - 「平成」→「H」
  - 「昭和」→「S」
- 本文中にある「前回の調査」とは、「平成20年度老人クラブ実態調査」を、「前々回の調査」とは「平成15年度老人クラブ実態調査」のことである。
- 集計における割合（%・百分率）の計算は、小数点第2位を四捨五入している。そのため、数値（割合）の合計が100%にならない場合がある。
- 図表の中にある「N」は、集計の対象となったサンプル（対象）数のことで、「単位老人クラブ」「老人クラブ連合会」「会員」の数を意味している。

# ■調査の概要

## 1. 調査の目的

- 最近の全国の老人クラブに関する組織、財政、運営状況、活動状況、問題点等を把握するために、「単位老人クラブ」と「市区町村老人クラブ連合会」の組織それぞれについて調査を実施した。なお、調査の名称は以下の通りである。

「単位老人クラブ実態調査」

「市区町村老人クラブ連合会実態調査」

## 2. 調査方法について

- (1) 調査項目（※詳細は、巻末添付の調査票を参照）

- 活動実績等は平成25年度の数値について、その他の質問は平成26年9月1日現在の状況についての回答を得た。

### ■「単位老人クラブ実態調査」の調査項目

- 名称、所在地、連絡先（問1）
- 設立年代（問2）
- 会員数（問3）
- 加入年齢（問4）
- 会員に準じる制度（問5）
- 会員数の増減（問6）
- 年間会費額（問7）
- 収支決算（問8）
- 役員等（問9）
- 例会・総会（問10）
- 会報（問11）
- 会員の加入促進の取り組み（問12）
- 活動の実施状況（問13）
- 活動の参加状況（問14）
- これから大切になる取り組み（問15）
- 協力を得ている関係機関・団体（問16）
- 自慢の活動（問17）

### ■「市区町村老人クラブ連合会実態調査」の調査項目

- 名称、所在地（問1）
- 会員数と老人クラブ数（問2）
- 役員等（問3）
- 決算収支（問4）
- 中間組織（問5）

- 部会（委員会）（問 6）
- 事務局（問 7）
- 広報活動（問 8）
- 広域でのサークル活動やグループ活動の実施状況（問 9）
- 会員増強の取り組み（問 10）
- 活動・事業の実施状況（問 11）
- 連合会が協力している行政や関係団体の事業・行事（問 12）
- 活性化のために、これから大切になる取り組み（問 13）
- 連合会の特長的な活動（問 14）

## (2) 調査対象と調査方法

### ① 調査対象地域と調査対象

- 全国老人クラブ連合会に直接加入している全国 62 か所の都道府県・指定都市老人クラブ連合会から 16 連合会を調査対象として選定した。選定にあたっては、「大都市圏及び近接地域」「地方圏」の両方が含まれるよう考慮した。
- 「単位老人クラブ実態調査」の対象は、上記 16 連合会の中から、10 か所の都道府県・指定都市老人クラブ連合会を選定し、さらにその中から、市区町村老人クラブ連合会を抽出し、同連合会に所属するすべての単位老人クラブを調査対象とした。また、調査対象数は、おおよそ全国の老人クラブ数の 3%とした。
- 「市区町村老人クラブ連合会実態調査」の対象は、上記 16 都道府県・指定都市老人クラブ連合会に所属するすべての市区町村老人クラブ連合会を調査対象とした。
- なお、本調査の調査対象は、上記の基準のもと毎回異なった都道府県・指定都市老人クラブ連合会から抽出しているため同一のサンプルではない。

図表 1 単位老人クラブ実態調査の対象地域と調査対象数

対象地域	抽出した 市区町村数	クラブ数 合計	市区町村別クラブ数			
			市	区	町	村
秋田県	6	394	300		87	7
茨城県	5	465	442			23
東京都	8	589	164	425		
石川県	7	236	99		137	
大阪府	10	599	542		43	14
和歌山県	10	294	159		135	
山口県	2	256	152		104	
徳島県	2	148	148			
福岡市	2	237		237		
鹿児島県	3	367	323		44	
合計	55	3,585	2,329	662	550	44

図表 2 市区町村老人クラブ連合会実態調査の対象地域と調査対象数

対象地域	連合会数 合計	市区町村別連合会数			
		市	区	町	村
札幌市	10		10		
秋田県	25	13		9	3
茨城県	44	32		10	2
埼玉県	57	37		19	1
東京都	54	26	22	5	1
石川県	19	11		8	
静岡県	35	22		13	
岐阜県	40	21		17	2
京都市	11		11		
大阪府	38	29		8	1
和歌山県※	34	9		22	3
山口県	19	13		6	
徳島県	24	8		15	1
福岡市	7		7		
長崎県	21	13		8	
鹿児島県	42	19		20	3
合計	480	253	50	160	17

※和歌山県田辺市連合会は合併していないため、1市に加え 旧2町・2村に配布した。

### 調査票の配布方法と回収方法

配布：調査票は、市区町村老人クラブ連合会に配布した。

回収：調査票は、調査対象者より郵送（全国老人クラブ連合会宛）で回収した。

### ② 調査の期間

平成 26 年 9 月 1 日から同年 10 月 15 日。

### ③ 回収結果

回収数、回収率は、下表のとおりである。

図表 3 回収数・回収率

	調査対象数	有効回収数	有効回収率
単位老人クラブ実態調査	3,585	2,215	61.8%
市区町村老人クラブ連合会実態調査	480	316	65.8%

④ 過年度の調査との比較

「平成 20 年度老人クラブ実態調査」「平成 15 年度老人クラブ実態調査」と共通している質問項目については、調査結果の比較を行った。

図表 4 単位老人クラブ実態調査の回収結果（上段は老人クラブ数・下段は%）

	合計	市	区	町	村	無回答
今回の調査	2,215 100.0%	1,375 62.1	503 22.7	296 13.4	27 1.2	14 0.6
H20 年度調査	2,660 100.0%	1,979 74.4	420 15.8	184 6.9	54 2.0	23 0.9
H15 年度調査	2,513 100.0%	1,362 54.2	500 19.9	556 22.1	72 2.9	23 0.9

図表 5 市区町村老人クラブ連合会実態調査の回収結果（上段は連合会数・下段は%）

	合計	市	区	町	村	無回答
今回の調査	316 100.0%	177 56.0	32 10.1	93 29.4	11 3.5	3 0.9
H20 年度調査	420 100.0%	180 42.9	29 6.9	153 36.4	58 13.8	0 0.0
H15 年度調査	518 100.0%	122 23.6	27 5.2	296 57.1	70 13.5	3 0.6